CASA新

発行

岡崎本社

株式会社カーザミカワ

30564-24-2511 岡崎市吹矢町88番地

☎0565-28-3891

田市豊栄町6丁目1番地

杉ムク柱品薄で下げ止まり感 国産材製材

それが9~

10月ごろからプレ

柱の引き合いも減ってきた。

荷動きに大きな変化がなく、

きている。ただ市売市場では サイズによって品薄感が出て 付かない製材工場も少なくな東では、杉柱角の生産が追い

任角の生産が追い野きも含めて北関

0

柱角のほかに間柱なども

カット工場の在庫消化にめど

がつき始めた。しかも足元の

の樹種間の価格体系では、

中部地区

えようとしている。素 が続くなか、1年を終

値下が

製品ともにウッドショ クの反動で値下がり

りを期待する声

値がついているものの、材は一部の大径材に高

↑が8万円前後(同)にまとま)の第4・四半期交渉分の価格 庫を抱えている。ただ、先物 一同、プレカット工場着)の在 ヤでも10万円前後で現物の消ったため、流通筋などが逆ザ 同)だが、杉ムクKD柱角は管柱は9万5000円前後(どっている。これらに競合し10万円前後と、軟化傾向をた ッド集成管柱は、プレカット 倒的に強い。 杉ムクKDの価格競争力が圧 て市場を拡大してきた杉集成 工場などがまだ12~ 柱市 動いている。同国産品も 突出して価格競争力が1.前後(同)と柱関係の 場で大勢を占 13万円 (めるWウ

使ってきた。そのため杉ムク抱えすぎた輸入材を優先的に 角KD特等で8万円前後(立10月ごろから製品相場は杉柱 って品 ーに入り込 KD柱角はもとより、ビルダ きている。 推移し、下げ止まり感も出 こうした動きに連動して9~ に対する引き合いが強まった。価格競争力の高い杉ムクKD ない製材工場も少なくない。 杉KD間柱などもサイズによ の在庫消化にめどが立ち始め、レカット工場が抱える輸入材 春先からプレ 語薄で、 柱角などの品薄感が んでいる杉集成管 生産が間に合わ 10月前後からプ

ョック前の相場に戻りかねなだどってきた。そのためこれたどってきた。そのためこれたどってきた。そのためこれの生は製材工場の生いが、 の需要を確保できるかどうか前後に収れんするのは時間のいずれあらゆる品目が8万円 樹種が下値探りを続けている。先物相場に向かってあらゆる ここにきて下げ止まり感を口 まり切っていないものの、 が緩和した。地合いはまだ固 でも9~10月頃から下値探り ながった。そのため市売市場に入り、製材工場の強気につ カット向けの出荷が増加傾向 しかしこのタイミングでプレ いという危機感が強まった。 にする流通業者も目立ち始め .. 需給相場のカギを握る。 移する。

> が影品などは逆ザヤ が動きが低調で、Wウ りのではある。外材製品も全般に 荷動きが低調で、Wウ移。外材製品も全般に製品価格は弱含みで推

喫緊の課題となっていのなかでも在庫消化が

外材製品の動きは低調

針葉樹合板

物製品の集荷難化を今は素材不足などから役 も聞かれる。製品商社

落ち着きを予想する声 ないことから、 素材出荷が例年より少 ないが、伐り旬以降の る流通関係者は少なく りが続くことを懸念す

価格の

加

りが続くなか、入荷減後の課題に挙げる。

出荷が伸び悩んでおり、 低迷から市場への素材

の差から、Wウが続く見通し。

Wウッド間 在庫量

柱はWウッドの集成管

柱より需給均衡が早い

もある。ただ年末に向出荷制限をかける市場

材増も見込めないことけて降雪が懸念され出

持ち家前年比18.7%減 10月の新設住宅着工

一方でビルダー向けに入り込る動きも出てきている。その

んできた杉集成管柱が価格競

案で杉ムク柱角を新規採用す

ーでは、プレカット工場の提が強まった。一部大手ビルダカット工場を中心に引き合い

杉ムクKDを使ってきたプレ っていた。そのため以前からムク柱角の価格優位性が際立

月ごろはさらに

少だ。持ち家の減少が拡大8%減)で3カ月ぶりの減りで3カ月ぶりの減が発力がある。 ・総着工数の年間累計では前 と貸家は増加傾向が続き、 と受家は増加傾向が続き、 を登録した。一方、戸建て分譲 少に加え、 前年同月比の減少率が広が 減少幅は前年同月比18・7家の減少は11カ月連続で、 ぶりの減少となった。持ちは7万6590戸で3カ月 年並みを維持している。 %減と拡大。 着工を発表した。総着工 11カ月連続の減 10月は2万18 14年7~10月 新設住

減少幅となった。 後の減少で、22年では最大の後の減少で、22年では最大の間19%前 20年を下回る可能性がある。ナ禍で過去最低水準となったば、持ち家の年間累計はコロ 減)。 別では、近畿圏の同14・5%三大都市圏及びその他地域%台の減少率は14年以来だ。 加傾向が続く。 つ 0 少を記録している。今回 、た。このペースで推移すれい減少だったが、2桁台に乗 3)。22年は9月まで1桁台4戸(前年同期比10・8% 1~10月累計でも21万19 (前年同月比1・4%増) 建て分譲は1 カ月連続増。 夏から秋に また貸家は 万2462 貸家は増 ー の 18 減

ウッド集成平角は競合柱との競合があり、R 柱との競合があ ŋ

る値下がり以降は弱保 手製材の価格改定によ はWウッド 流通在庫は増加傾向。 板は引き合いが低調で、国産針葉樹構造用合 低迷しており、 ト高のなかで荷動きが 足に転じる可能性も。 は調整局面だが、 材や先物価格の影響で 合で推移する。 情勢から来春には不 **競合が激しい。現状** 米材輸入製品はコス がりに向かう見込 ・は減産で需給 エゾ松製品 国内大 先物

市況状況

値下げ

値上げ



ラワン薄ベニヤ

ファルカタ正寸12mmT2

横ばい

針葉樹12mm 3×6

戸建て分譲、賃貸が総数をけ期比0・7%増。マンション、計は71万9710戸と前年同計は71万9710戸と前年同 かし22年度(4~10月)累計ん引し、ほぼ前年並みだ。し では51万9484 減であり、4月以降に着 戸と同り・

減)と減少で、 ると1022戸 96 (同4・3% 木造の増加傾 $\tilde{3}$ 3 戸

名古屋商況 さえない市況で越年 在庫の調整は進んできたが、の体力が削られている。流かで売れ行きが伸びず、業 視している。 は年明け以降の受注減を不安 けている。プレカット工場で 月は、輸入製品ではWウッド 荷もたれ感は残っている。今 活気がなく、「年末のせわしろだ。住宅資材の荷動きにも なさを感じない」(木材小売 [材が引き続き弱基調で推移 体力が削られている。 支援政策に期待したいとこ に持ち家は良い話と建築実需は今月もど マインドが落ち込んでいる 木材製品は、 といい、 物価上昇で施主層の新 ここは住宅減税など 市況は低迷を続 コスト高 K D 小

対別かれ 業者 価格は下げ止まりに向かう。製一 品は弱含みだが、こちらも底打一 声海4県の10月新設住宅着工一 戸数は8319戸(前年同月比1 一 下数は8319戸(前年同月) 戸 (同 18 は 材では、 特に持ち家は3179 原木は出材料が減 ・3%減)で8カ月連 分譲住宅も2408

強い持ち家志向に支えられてきが伸び悩んでおり、当地区の根 た木材需要に影を落としている。 売る分譲住宅に比べて注文住宅いる。特に、建築後の完成品を (同1・5%減)と5カ月 で住宅の実需が低迷して 宅需要の変化

るか、

どの部分に付加価値を見出

を候補に挙げて提案しようとして フレ時代の感覚で部材や住宅設備いのでは」との指摘があった。デ

在庫過多のWウッド続落

予想もあり、

先行きの不

透明感が増している。

本価

となっている。

このほか、

国産材も

月比で立方以2万円高いもの高で続伸し、前

している。どの点で収益を上げ、商品価格や人件費等は既に変

★ 代金400~500円安・ 格評定は集成管柱が1本 上透明感が

00円安に。

000円安に。 競合する杉間柱は同2 弱含みで、Wウッドと

桧土台 の評

してもらうかが重要であり、 方の工夫が必要になっている。

受注が鈍化傾向

維持したが、

昨冬は100

辛うじて99%台を 前月からは2次近 大型物件の加工があるが

や年度末を見据えた中

いる。年末で急ぎの仕宅や非住宅で忙しくな

と稼働率を引き上げるが、次

は12月も生産調整を続ける

-のJAS認証停止で10月は中国の合板メ

ほどでは

なく、メーカー

需要家であ

だが、

的に低調で、

節の集

住宅の

が入ってくる

押し圧力になりかねない。

プレカット工場の手応え建てが落ち込んでいるた

1 {

10

ない。

• 1 % 12

(前年

同月比4%

月の企業別受注平均

受注が冷え込んでいる。 %台だったことを考えると

月の稼働実績は地域や

でが、前年同月比で5~10 一場規模によってさまざま

の減少を強いられている

前月まで繁忙でも突

見積もりや受注が止まる

低調

少し

一材や住設機器はコスト上昇と部 不足で居所は下がっておらず、

米協名古屋

|インフレの感触が強い。

るが、流通業者からは

「提案力の

よる施主層の尻込みという面もあ住宅の実需低迷は、物価高騰に

減と1割以上減った。木造は持ち家は前年同期比10・8%は、貸家や分譲で増加だが、 いる。今後、工場間で受注競受注の落ち込みが予想されてのでは、「同12・9湾滅)で 率を優先していくと加 どのコスト増でも、 声があり、電気代や人件費な争が激化することを危惧する プレハブも同4・1%減で加2×4は同4・5%減、木質 境とは言い難くなっている。としており、安定的な受注環 工需要に直結している。 同43%減で落ち込んでおり、 の案件が入るかどうか不透明 来年1月見積もりは平均 月の新設住宅着工数 -増でも、工場稼働電気代や人件費な 江賃の 国 方加 工 や公共物件を加工する工場はルダー向けの分譲・集合住宅 ないが、見積もり減少を行力工量自体に大きな減 |激化するのを不安視している。落ち込んだ際に、価格競争が場では、年明け以降に受注が ある。 アル作成を予定する。別の工プを目的に動画形式でマニュ 定のところが大半だ。 月休みも規定通り消化する予 に工場稼働率が減少した際に地方の工場は、年明け以降 は通常稼働の工場が多く、例年なら繁忙期だが、全 量が高止まりしている一 場従業員のスキルアッ 見積もり減少を訴え 店向けは減少傾向に 格は落ち着いたが、 :年のウッドショック 少は

国産合板商況 工場火災も需給に乱れなく 一旦は国産合板の需給が引きへは新秋木工業の合板工場が、一次が停滞したほか、10月末に がっていない。新秋木工業合板の荷動き回復にはつな 庫を持て余すとみられてお
 不足が解消された段階で在 もと国産針葉樹合板の供給 だが、中国産合板はもと締まるとの観測も浮上した。 が停滞したほか、10月末に中国産針葉樹合板の荷動き **〜、JAS停止は値崩れ抑** 生産停止では当面 には働いたもの カー

中 在庫の消化は遅い。11月 も並材は弱基調となった。 Wウッド関係は在庫過 多が解消されず、値下が りが続く。在庫調整が済 ものは来年の春先という 受注は例年に比べ若干少した。プレカット工場の 年始以降は見通 動向を協議 し 。 ネント工場等が当用買 進むが、大手コンポー 2×4材は在庫調整が 円安とされた。SPF キ・根太は同3000 め在 大きな値崩れになっ 松製品も弱含み 多くないた

三回の市 ZDZZテーマ

住む家智過ごす空

00円安となった。 一

米松クリア材はな

調が続く。

価格は50

よるプレカット工場の出荷の出帯では場所である。需要増や現場遅れの改善にいる。非住宅建築の 11 |流通在庫は増加傾向にある。 |引き合いが低調に推移し、 10 徐 続くと予想される。 た販売先もある」(メーカ11月から通常の発注に戻し と見ている。足元の需要も れを抑止した。 メーカーの生産調整 の低迷を背景にユ 針葉樹合板は、 繁忙感は感じられず、 [復なども指摘され始めた 月で在庫整理が一巡し、 月末在庫は確実に減る」 迷を背景にユーザー 、販売先に混乱が生後の供給を補完する 例年のような年末 カーは 整を図っており、価格より需給バランスの調合板メーカーは減産に の仕入れを絞っている。 るプレカット工場も、 ムードのまま推移して

ていない。構造用3× ・模様だが、今のところ では処分値も出ている。一部 ばいとなっている。ま6判12』。厚は今月も横 を維持する構えだ。

ő,

国産

開催期間 10月1日(1)-12月29日(木)まで

Casa Mikawa